



星野・大坂ニュース

第 3 号

2025年8月4日

◇編集・発行／無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会(準) ◇頒価 200円 ◇毎月1回 第1月曜日発行 ◇会費 年間 3000円
◇連絡先 星野さんをとり戻そう! 全国再審連絡会議 / 大坂正明さん救援会 ◇口座振替 00110-5-155521 (星野) 00140-7-635858 (大坂)
〒105-0004 東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル4階 ◇TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226 ◇Email : hoshinoosaka@gmail.ne.jp



不当逮捕を弾劾し警視庁湾岸警察署前でBさん激励行動を闘う青年・学生 (6月15日)

戦時弾圧打ち破る力強い運動を 1万署名で大坂さん解放へ

7月4日、6・14反戦デモで不当逮捕された全学連のBさんを奪還しました。直後の7月7日、京都大学で行われた反戦集会で学生1人がでつち上げ逮捕今年に入ってから、全学連の逮捕者は11人を数えます。7月30日には天皇来沖弾劾闘争で不当逮捕・起訴された学生の裁判が那覇地裁で始まります。

弾圧が物語るのは、中国侵略戦争情勢が深まり激しさを増していること、「新たな安保・沖縄闘争の爆発で戦争止めよう」「星野さん、大坂さんのように闘おう」と全学連を先頭とした青年・学生が歴史的な闘いに立ち上がっていることを、国家権力が恐怖しているということです。

いまこそ星野・大坂闘争の真価を発揮するときです。8月24日、運動の決定的な飛躍をかけた星野・大坂総会をかちとり、戦時弾圧を打ち破ろう。解放署名1万筆を集め大坂さんを絶対に奪還する大きな運動を作ろう!



大坂裁判弁護団

西村正治

事実に対することを、ぬけぬけと主張し続けている。

「ぬけぬけと」…福井事件再審の判決が検察官に対して投げつけた罵りの言葉である▼無実の前川彰司さんに罪を着せた知人の供述調書では、事件当日、吉川晃司とアンルイスがいやらしい振り付けのダンスをしたテレビの歌番組の途中で呼び出されて血のついた前川さんを見たことになっていた。この迫真的な調書の一文が確定審の逆転有罪の根拠だった▼しかしこのシーンは実は1週間後の番組だったことが起訴後の補充捜査で判明した。迫真的な調書が全く虚偽だったのだ。検察官はそれを知りながら隠し続け、この調書の迫真性を主張し逆転有罪を導いた。再審判決は言う。

ぬけぬけと主張し続けている。不誠実で罪深い、不正行為と言わざるをえず、到底容認することはできない、と▼大坂正明さんも前川さんと同じく、物証なく目撃供述のみで有罪にされている。目撃者とされた人たちの調書はみな迫真的に書かれている。3カ月以上前のことなのに目の前の再現ドラマのように。そんなことはあり得ないと誰もがわかっていいる。しかし、一審判決は事件に接した時点の調書だから信用できるとして、すべての公判証言を無視して供述調書のみによって懲役20年判決を下した。「ぬけぬけと」よく言えたものだと怒りをぶつけた。

今月の紙面

- 星野・大坂総会に集まろう
 - 大坂控訴審のポイント / 大坂さん面会記
 - 神奈川星野総会報告 / 救援会の渋谷街宣
 - 高知から活動報告 / 安保・沖縄闘争
 - 6・14弾圧奮戦記 / 7・7京大弾圧許すな
 - 各地の星野絵画展 愛媛 / 北海道 / 九州
- … 2
- … 3
- … 4
- … 5
- … 6
- … 7

控訴審勝利へ運動を強めよう

8・24星野・大坂総会に集まろう

米トランプは6月、イラン核施設を爆撃し「広島・長崎と同じこと」をしたと自画自賛しました。米日による中国侵略戦争・世界戦争は、帝国主義の支配のためには核さえためらわずに使う、人類絶滅の核戦争です。「人間が人間らしく生きられる社会」の対極にあるトランプ・石破を絶対反戦の民衆の闘いで打ち倒そう。星野さん、大坂さんが闘った1971年11・14闘争を超える労働者民衆の実力決起の時代が到来しました。

いま日本は中国への侵略戦争を、自らが主体となって積極的に推し進めています。天皇の沖



今秋控訴審勝利へ渋谷街宣 (7月17日)

縄訪問や広島訪問は、戦争のための「地ならし」にほかなりません。参議院選挙では労働者民衆の怒りが爆発し、既成政党が大敗北・大没落しています。あらゆる勢力が「国難」を叫び戦争への動きが激しくなる中、現状変革を求める大衆の意識に合わせた絶対反戦の闘いで救援運動の飛躍をかちとりましょう。

8月24日に開催する星野・大坂全国総会は、この時代に私たち自身の運動の変革と飛躍をかちとるための総会です。全学連を先頭に青年・学生・女性が反戦闘争の先頭に立ち、弾圧を打ち破って闘いを拡大しています。半世紀にわたって安保・沖縄闘争弾圧と闘いぬき勝利してきた運動の真価が問われています。星野・大坂精神を横溢させ、青年・学生・女性の闘いに続こう。

救援会の拡大かちとろう

労働者民衆の実力闘争のみが、真に社会を変革する力を持つ！ 1971年11・14沖縄闘争(渋谷暴動闘争)は、実力闘争で国家暴力を打ち破り、政治支配を根底から揺るがしました。これに対する国家権力の恐怖が、星野・大坂弾圧です。どれだけ法廷で無実が明らかになろうが、ねつ造した検察官調書だけで有罪認定する。国家権力の戦争意思をむき出しにした判決は、今日の戦時弾圧との最先端攻防が大坂さん奪還をめぐる闘いにあることを示しています。

この国家権力との全面的激突に勝利する救援運動の体制を整えよう。これが8・24総会の大きな課題です。具体的には今秋控訴審に向けて1万筆の署名を集め、救援会を拡大し、東京高裁を民衆の怒りで包囲しよう。そして星野国賠控訴審で星野さんに対する劣悪な獄中処遇を行使し続けた徳島刑務所を徹底的に追及する闘いを実現しよう。

8・24星野・大坂全国総会で徹底的に議論し、一致し、大坂さん解放、星野国賠勝利へ前進しよう。米日の中国侵略戦争と対決し、反戦闘争の先頭に立ちたい。安保・沖縄闘争は私たちの原点であり、今日の最重要課題です。獄中の大坂さんと固く団結して勝利へ進もう。

控訴審開始までに1万の署名を

署名を拡大し高裁を包囲しよう

大坂裁判の控訴審は、公判開始が秋以降になると見込まれています。控訴審開始までに大坂さん解放を求める署名を1万筆まで積み上げ、東京高裁に事実調べを絶対に行わせよう。

運動の力で事実調べ実現へ

控訴審闘争は、昨年10月に弁護側が控訴趣意書を提出し、これに対して検察が今年2月に答弁書を提出したことで、いつ公判期日が指定されてもおかしくない情勢に突入しました。私たち救援会は「大坂無実、事実調べを行え」と決戦を構え、「5、6月安保・沖縄闘争と一体で大坂さん解放署名を5千筆集めよう。東京高裁を労働者の怒りで包囲し、事実調べを勝ち取ろう」と運動を進めてきました。

秋の反戦闘争と一体で勝利へ

決戦が秋以降に再設定されました。7月の参院選では労働者民衆の怒りと社会変革への強い思いが爆発し、階級的大流動が始まっています。戦時弾圧うちやぶり今夏反戦闘争を闘いぬこう。日常的な闘いの中に大坂解放署名を位置づけ、労働者民衆の怒りを糾合しよう。目標は1万！ 全力で集めよう！

星野・大坂救援会全国総会

8月24日(日) 午後1時開会

ティアラこつとう 中会議室(東京都江東区住吉2-28-36)

都営地下鉄新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉」駅徒歩4分

大坂控訴審のポイント解説②

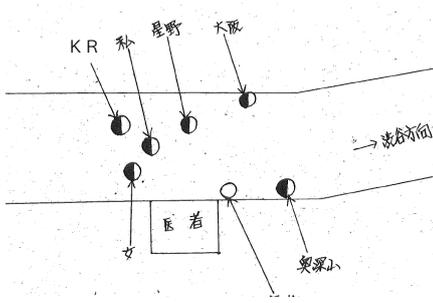
機動隊との激突現場で未知の人を
後ろ姿から特定するデタラメ調書

控訴審の闘いの柱は、一審有罪判決の軸とされたA Oの供述調書を粉砕することです。第一のポイントとして、「未知の人」である大坂さんが、捜査官による誘導と不正な写真面割を経て「見たことのある人」に作り変えられ、調書がねつ造されていく過程を明らかにしました。

第二のポイントは、「そもそもA Oは事件現場で大坂さんを見ていない」ことです。

そもそも何も覚えていない

デモ隊は神山交番前で阻止線



神山交番前で10メートル前を走る「星野・大坂・奥深山」を認識したとされる調書添付図

を張る機動隊と激突し、ガス弾と火炎びんが飛び交います。デモ隊が機動隊を蹴散らして渋谷方面に進む中、A Oは交番前で転んでしまい、ズボンに火がついてパニックに陥ります。そもそも、誰が何をしているか記憶できる状況にありません。

なんとか火を消したA Oが、あわててデモ隊を追いかけた直後に「リーダーたちが先頭で走っているのを見て感動した」というのです。「私が見た時、奥深山さんが道路右側、大坂が道路左側各10メートル位前方で、星野さんは私より3メートル位前方、K Rは私の左後方におり…」と検察官調書に記されています。

A Oの視力は0.2

実はA Oは視力が0.2で、普段から眼鏡をかけていませんでした。5メートルも離れば顔の詳細がわからない視力のA Oが、10メートル先を走る未知の人を特定する。それも「顔を見

た」のではなく「後ろ姿を見た」というのです。

大坂裁判でA Oは検察官の尋問に答え、「黒いコートで長身の男が走っていたというのが記憶にある」「黒いコートの男は大坂ではない」と調書の内容を否定しました。

大坂さん面会記

大坂さんの無実はゆるぎない

星野文昭さんを取り戻そう！東京連絡会 中野真樹子

7月1日。この日は朝8時から30度を超える猛暑日でした。星野暁子さんと小菅駅で10時に待ち合わせ、東京拘置所に向かいました。

人を遮断するような物々しい建物のオーラに圧倒されながら、手続きを済ませて、10階の面会室に向かいました。長い廊下を歩きますが、どんな小さな隙間からも外界を見ることができない構造にも驚きました。

そして、大坂正明さん。アクリル板越しではありませんが、お会いできました。暁子さんを見たときに、とても嬉しそうにされたのが印象的でした。わたしは何を話しているのか、もじ

「前の方に黒いコートの男がいた」、これがA Oの記憶のすべてであり、「星野・大坂・奥深山を見た」はねつ造です。控訴審では「視力0.2で10メートル先を走る人物を後ろ姿で識別することは不可能である」ことを心理学者の鑑定を武器に闘います。

もじていましたが、暁子さんがご紹介くださり、その時に経緯を説明くださったことで、緊張が解けた気がします。

動物的勘で無実を確信

自分はもともと動物問題のことに関心を持って活動してきたことを、すこしだけお話ししました。そのとき、大坂さんがこ

やかにうなずいていたのを思い出しています。そう、大坂さんについて、わたしはパンフレットや会報などで写真を拝見したことしかなかったのですが、ずいぶん印象が違いました。終始にこにこと物腰が柔らかく、「ぼくたち年寄りには、若い人たち(全

学連の方々を指しているのだと思います)に見習わないとだね」と楽しそうにおっしゃったりしていました。

大坂さんの無実については、先日の集会での山本志都弁護士のお話がずっと頭の中を響いており、ゆるぎないものであると信じています。20分という短い時間ではありますが、大坂さんを目の前にして「この人はひとを殺めるような方ではない」と、自分の動物的勘が確信に変わったような気がします。

大坂さんの健康を祈る

「差し入れで何か欲しいものありませんか?」と伺ったときに「大丈夫、今は十分足りていますから」と微笑んでらっしゃいましたが、暁子さんもわたしも1階の差し入れ屋さんでそれぞれ買物しました。

自分が購入したのは、タンパク質が摂れるもの……と思いつ、サンマやサバのレトルト等。ある一定の年齢を超えたら、積極的にタンパク質を摂取しないといけないと聞きます。どうか、大坂さんが健康を損ねないように、一日も早く元気に出てこられることを心から祈っています。

救援会の飛躍・発展かけ

「星野・大坂救援会神奈川」発足

星野・大坂救援会神奈川 鈴木文子

7月13日に横浜市内で「神奈川・星野文昭さんを取り戻す会25年総会」を20人の参加で開催しました。最初に、二十数年にわたり「取り戻す会」の代表を務められ、この度、高齢で辞退される土屋翼氏から、星野・大坂控訴審への激励と期待をこめたあいさつを受けました。

星野・大坂弾圧は一体



神奈川総会で大坂裁判学習会（フォーラム南太田）

このあと、大坂裁判についての学習会に入り、星野・大坂全国救援会事務局の杉浦文俊さんから提起を受け、討論しました。杉浦さんの提起で、①本件は沖縄闘争への弾圧である②星野・大坂弾圧は一体である③安倍・沖縄闘争貫き勝利しよう、これは今日的な課題である④具体的課題として署名集めと裁判所行動を、とポイントが押さえられました。

とりわけ②で、この一審判決は公判証言をすべて無視し、検察官調書だけで懲役20年判決を下したが、この調書は「星野さんリーダー、大坂さん副リーダー、奥深山さん群馬の学生のリーダー」というストーリーをつくりだした警察・検察が、それに合うように少年であった6人の学生に供述を仕向けてねつ造した権力犯罪だという点に納得しました。供述調書のなかにこそ真実が隠されているところがあることが印象的であり、そもそも星野・大坂弾圧は一体であることがよくわかりました。質疑応答では大坂さんに面会

した人から獄中処遇について心配する声が多かったことで、大坂さんからの手紙などを確認しながら大坂さんの人柄にも触れる討論ができて良かったです。

毎月の署名街宣を方針化

「星野さんを取り戻す会・神奈川」事務局から財政報告と賛同会員の拡充の訴えの後、「今後へ向けて」を事務局が提起。星野の運動を大坂救援と一つにするため、名称を「星野・大坂救援会神奈川」とする、無実の大坂さん解放に全力をあげる。横浜刑務所在監の須賀武敏さんの健康をまもるために横刑申し入れ行動に参加する。そのために、①安倍・沖縄闘争の高揚、ヒロシマ、ナガサキ、フクシマの闘い、とりわけ横須賀闘争の高揚とひとつに闘う②大坂控訴審闘争の勝利へ、署名を集め、事実調べを実現させよう。弁護士にも運動を持ち込もう③組織的・運動的強化を図るため事務局体制の強化、月1回の街宣と定例会への参加を呼びかけ、さがみはら星野常設展を救援会の連絡場所とする、等の提起が参加者一同の拍手で確認されました。大坂さんを必ずや取り戻そう！

渋谷街宣

戦争と排外主義競う参院選に 救援会が「絶対反戦」の訴え



参院選反動を切り裂き、民衆の怒りと一体化した渋谷街宣（7月17日 JR渋谷駅前）

参議院選挙真ただ中の7月17日、救援会は渋谷駅ハチ公前広場に登場し、「中国侵略戦争を止めよう」「無実の大坂さんをと

り戻そう」と声を上げました。あらゆる勢力が「国難」を叫び、戦争と排外主義を競う異様な選挙情勢を吹き飛ばそうと、演説にも力が入りました。すると近くで選挙活動を行っていた「れいわ新選組」のスタッフが署名にやってきて「自分は沖縄出身。戦争準備が進む沖縄の現状は本当にひどい。戦争を止めるため、7月19日の新宿デモに参加します」と話が弾みました。署名は1時間で26筆。労働者民衆の怒りが激しく噴き出す中、「絶対反戦」の訴えに手ごたえを感じる署名街宣でした。

星野・大坂救援会 行動スケジュール

- 8月28日（木）霞が関デモ&署名提出行動
正午、日比谷公園霞門集合、2時高裁申入予定
- 9月25日（木）霞が関デモ&裁判所前街宣
正午、日比谷公園霞門集合

★全国で「大坂さん解放を求める署名」を全力で集め、連続的な裁判所行動を闘おう
★救援会の力で裁判所に事実調べを行わせよう

沖縄・宮古を訪問しての報告会を開催

「人間らしく生きられる社会」実現へ

高知・星野文昭さんを救う会 小西文江

5月24日、高知・星野文昭さんを救う会企画として「沖縄・宮古を訪問しての報告会」を高知市龍馬の生まれたまち記念館で行いました。あいにくこの日は午後から警報級の土砂降りになりましたが、9人の方が参加され、高知新聞の記事を見て来て下さった方もいました。雨の中ありがとうございました。

沖縄基地強化の現実を知る

お話し下さったのは平林稔さん（高知市キリスト教牧師）で、25年前から通算して15回沖



昼休み、高知の商店街で救援会の宣伝活動

縄に行かれています。今、琉球列島全体に軍事基地強化が進んでいます。沖縄には戦後80年経っても米軍基地が存続しています。在日米軍施設の70パーセントが集中しています。米兵による事故や犯罪が後を絶ちません。日米地位協定があるために犯罪を犯した米兵が裁かれません。国策的な差別的「思いやり予算」が24年度は8601億円に達しています。普天間飛行場（基地）の周辺には住宅に加えて、学校や病院が多数あります。周辺住民は危険と隣り合わせの生活を強いられています。

はカヌーと抗議船で阻止行動を続けています。宮古島や石垣島への自衛隊のミサイル部隊配備、水陸両用車、オスプレイ、空対地ミサイルの導入など、地元の方々の反対の声を無視して、軍事基地の強化新設が着々と進められています。星野さん大坂さんとともに高知で沖縄連帯の行動続ける

2012年、普天間基地にオスプレイが配備されることに反対して、「普天間基地ゲート前でゴスペルを歌う会」がつけられました。毎週月曜日午後6時から開催しています。平林さんは沖縄に連帯するために、高知でも「ゴスペルを歌う会」を立ち上げて、毎月第3土曜日午後3時から高知市中央公園前で讚美歌を歌い、平和を祈り訴えておられます。

星野文昭さん、奥深山幸男さん、高知県出身の永田典子さん、大坂正明さんたちが「基地のない沖縄」を目指して抗議の声をあげられたように、星野文昭さんの願いである「人間が人間らしく生きられる社会の実現」を求めて高知で行動していきたいと思えます。

差別・排外主義許さず中国侵略戦争止めよう

参院選反動を吹き飛ばす反戦デモ

7月の参議院議員選挙では、既存の政治勢力に対する労働者民衆の怒りが激しく噴き出し、現状変革を求めて多くの人が動き出しました。

あらゆる政党が「国難」を叫び、排外主義を競う異様な選挙情勢の中、改憲・戦争阻止！大行進をはじめとする絶対反戦派が参院選反動を吹き飛ばす反戦デモを闘い、大きな注目を集めました。

7月12日、反戦反核東京集会 & 渋谷デモが聞われました。米・



イスラエルのイラン爆撃で戦争情勢が一変する中、デモは街頭の圧倒的注目を集め、飛び入り参加が相次ぎました（写真上）。

7月19日、「女性・青年・学生」の行動で戦争止めよう！反戦集会in新宿」には400人が集まり、選挙選最終日の新宿駅東口を反戦派が制圧しました。諸勢力がひしめき合う中、差別・排外主義を絶対に許さない決意を示し、怒りと解放感に満ちた集会・デモで参院選反動を吹き飛ばしました（写真下）。



6・14弾圧奮戦記

星野さん大坂さんに続く全学連の闘い

全学連 6・14弾圧当該

6月14日の反戦デモにて公務執行妨害で逮捕され、7月4日に奪還されました！ ご支援誠にありがとうございました。

国際連帯で戦争止める

今回私にかけられた弾圧は、米日帝国主義が中国侵略戦争へ突き進む中、これと真つ向から対決した勢力だからこそのもです。6・14はアメリカの労働者階級と断固連帯し、トランプが中国侵略戦争へ人民をまとめ上げようとして行った「軍事パ



米大使館に向かう交差点で機動隊がデモ隊を襲撃、学生を不当逮捕した(6月14日)

レード」を粉碎し、米帝とともに戦争に突き進む石破政権を打倒する闘いでした。

大坂さんの闘いと一つに

私たち日本労働者階級に今問われているのは、国家権力による弾圧と闘う力を維持拡大できるかです。今年は京大弾圧から始まり、延べ11人の学生が逮捕されました。弾圧の激しさに競争勢の進行が見て取れると思います。弾圧当該全員が完全黙秘・非転向で闘い抜き、沖縄で闘ったA君は今でも闘いを続けています。そして星野さん、大坂さんの裁判闘争、保釈を勝ち取る闘いがあります。とりわけ重要なのは、A君奪還の闘いと星野・大坂闘争は完全に一体なものだということです。

すべての弾圧に勝利しよう

星野さんと大坂さんが闘った渋谷暴動闘争は、沖縄を「基地

の島」にしたままベテンの「返還」をするという日帝の許し難い策動に、本土と沖縄を貫く闘いとしてありました。天皇制の維持のために天皇が沖縄を売り渡し、沖縄戦は行われました。このことをヒロヒトは居直り、リベラル面をしているアキヒトやナルヒトも謝罪していない。

「二度と沖縄戦を繰り返さない」という沖縄人民の意志を踏み躪り、再び戦争に沖縄人民を動員しようとしている。こういう許しがたい策動に本気で怒り、闘ったのがA君です。沖縄人民の反戦の思いを共にし、日帝と闘うということは、星野さん、大坂さんとA君は全く同じ闘いをした、星野・大坂精神をまっすぐに引き継ぐものだという事です。これを恐れた国家権力がA君を起訴したのです。

さらに、盧溝橋事件から88年、アジア人民への血債をかけて反戦集会を闘ったCさんが逮捕されました(下記事参照)。これも、帝国主義が帝国主義足下のプロレタリアートと被抑圧人民との団結をどれだけ恐れているかの裏返しだと思えます。私たちにかけられた弾圧はすべて、反戦運動を叩き潰すためにあるとい

う本質で一体のものです。すべてに勝利しましょう。

核武装狙う石破を倒そう

この原稿を書いているのは7月末ですが、再来週については8・6ヒロシマが迫っています。沖縄と同じく、広島人民の反核の思いを握り潰し、帝国主義の核は素晴らしい核だといふとんでもないことを言いながら、非核

三原則を180度転換し、核武装を狙うのが石破です。

既成左翼は、「高市よりマシ」だと言い、「石破辞めるなデモ」なるものをやっている。完全な屈服です。「デモはテロ」と言い放つ奴のどこが「マシ」なのか。ふざけるな！ 日帝も米帝も吹き飛ばす、広島人民と一体になった荒々しい反戦デモ、座り込み闘争に集まりましょう！

7・7京大弾圧

でつち上げ逮捕粉碎しCさん奪還

7月7日、京都大学構内で開催された「盧溝橋事件88年弾劾！ 再びの中国侵略戦争とめよう！ 7・7関西学生反戦集会」に参加し、反戦を訴えるピラを京大正門前で配付していたCさんが、京大職員に対する公務執行妨害容疑をデッチあげられ不当逮捕された。反戦集会を弾圧するために十数人でやってきた京大職員は、昼休み前から大量の警察・機動隊を大学門前に呼び寄せて逮捕させたのだ。

7・7関西学生集会は、天皇の軍隊・警察のもと「敵性外国人」を弾圧し、アジアへの侵略・虐

殺に加担させられていった日本労働者階級の痛苦の歴史を二度と繰り返さないことを誓い、差別・排外主義を打ち破り、歴史的な大軍拡と「非核三原則」見直し＝核共有に突き進むトランプ・石破を打倒することを呼びかけた集会だ。再びのアジア侵略＝中国侵略戦争阻止の訴えをすべての学生に届ける反戦集会だ。

全学連は、巨大な反戦闘争の爆発でCさんを絶対に取り戻そうと訴え、Cさんは完全黙秘を貫き、7月23日に奪還を勝ちとった。

絵画展

愛媛

反戦訴え大坂署名31筆

日野 亮

6月28～29日、松山市の愛媛県美術館で「星野文昭・暁子詩画展」を開催しました。来場者106人、署名が31筆でした。絵画展に向けて松山反戦デモのチラシとセットで街頭、職場、大学にまき、新しい人も参加してくれました。非常に幅広い層の来場があり、外国から来た人若いカップルやグループも目立ちました。時間をかけて熱心に鑑賞された方が何人もいました。世界中で戦争が拡大し、多く



の人が身近に戦争を感じています。私は知人とウクライナ情勢をめぐって深い討論になり、関係が深まりました。「自分に何ができるのか？」と悩む労働者・学生に絵画展やデモの場を提供するのは大事だと思います。

参議院選挙で極右勢力が議席を伸ばしました。資本主義に幻滅し変化を求める若者の中に入り「人間が人間らしく生きていける社会」の実現を訴えましよう。昨日まで政治に関心のなかった若者が生きる目的を求めて立ち上がっています。大胆に論議を巻き起こしていきましょう。「平和とパン」を誰が実現するのか？労働者階級しかありません。8・6ヒロシマ、8・9ナガサキ闘争、11月労働者集会を昨年を超える闘いにしましょう。若者を組織しましょう。

北海道

署名も来場も過去最高

鈴木 潤

7月10～12日の3日間、札幌駅地下歩行空間（チ・カ・ホ）で開催した星野絵画展は歴史的な成功を実現できました。3日間の入場者は370人、大坂正



明さん解放の要望書は72筆で、いずれも過去最高でした。

事前の街頭宣伝は天候に恵まれて全て実行できました。沖縄の平良修牧師から星野文昭さんのことを聞き、今後の協力を申し出た市内の牧師さんがおりました。初日の設営中、11・14渋谷暴動闘争に参加したという元反戦派労働者の2人連れが立ち寄りしました。

今回は〈沖縄・無罪・獄死〉を大きくアピールすることが事務局で決まり、6月の総会で承認されました。看板は通路の反対側からも判読でき、万単位の歩行者の目にふれました。これを見て立ち寄る人が結構いるという報告がありました。

その場で星野さんのことを説明するのは大変なので説明文を用意しました。内容は星野・大

坂全国救援会事務局に添削してもらい、英語版も用意しました。日本語版は230部、英語版も10部ほどが来場者に配られました。それを読んで署名に協力して下さる方が多数おり、効果的でした。

九州

反戦闘争の砦、絵画展

吉田光男

佐賀空港に7月9日、オスプレイ1機が初飛来し強制着陸。中国侵略戦争の軍事基地化・空港配備に反対する現地闘争が行われた。その2日後の11日から2日間、「星野文昭さん絵画展」を西南大学多目的室で開催した。約100平方メートルの広大な会場に星野さんの絵画20点と暁子さんの詩、沖縄関係の書籍やパネル



資料を展示。初日から西南大生が数名来場しパネルなど熱心に見た後、法科生から大坂裁判について質問を受けた。

今回のテーマは『戦雲を払う』。会期2日目は講演会。まず本会代表・野中宏樹さん（オスプレイ裁判支援市民の会・副代表）から「佐賀空港オスプレイ配備ゆるさない」と題し空港の軍事基地化の経緯と目的が講演された。2日前にオスプレイが飛来したことで来場者の関心は高かった。また、60年前の定時制高校生による校内の反戦活動で退学処分を受けた「高校生の反戦決起。1964年修猷館闘争」が山下勝泰さんによって語られるなど、「星野絵画展」は反戦闘争の砦（とりで）となっている。

最後に事務局から「星野・大坂裁判闘争の現状」と題し、「星野さんは半世紀前の『沖縄返還協定批准阻止闘争』で殺人罪の冤罪を受け44年間の獄中生活後、『獄死』されました。星野さんとともに闘った大坂正明さんは殺人罪の冤罪実刑20年を受け現在も無実を訴えています。この秋に始まる控訴審で勝利するとともに、一日も早く大坂さんを奪還しましょう」と訴えた。

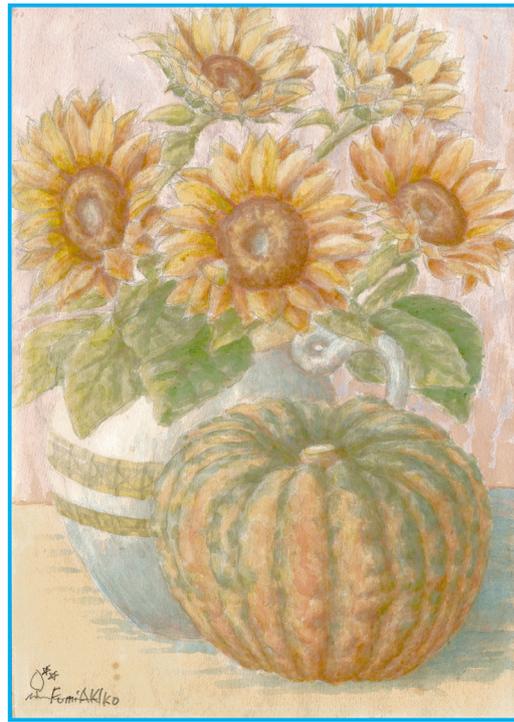
インフォメーション

- 被爆 80 周年 8・6 ヒロシマ大行動 25
 - ★平和公園集会禁止・反戦弾圧許すな！原爆ドーム前前夜集会
8月5日（火）午後9時 原爆ドーム前
 - ★戦争翼賛式典粉碎！ 原爆ドーム前反戦反核集会
6日（水）午前6時30分 原爆ドーム前
午前8時15分 黙祷後、戦争式典弾劾デモ
 - ★8・6 ヒロシマ大集会
6日（水）午後0時30分 集会後デモ
広島県立総合体育館小アリーナ
主催 8・6 ヒロシマ大行動実行委員会
- 被爆 80 周年 8・9 ナガサキ反戦反核行動
 - 爆心地公園集会ー石破打倒デモ
8月9日（土）午前10時 集会後デモ
爆心地公園（長崎電気軌道本線平和公園駅徒歩1分）
 - ★8・9 ナガサキ反戦反核集会 午後1時30分
長崎総合福祉センターセミナールームA（浦上駅徒歩3分）
主催 8・9 ナガサキ反戦反核行動実行委員会
- 戦後 80 年ー新たな戦時体制を撃破せよ！
 - 8. 15 労働者市民のつどい
8月15日（金）午後2時 集会後デモ
牛込筆筒区民ホール（都営大江戸線牛込神楽坂駅すぐ）
主催 8・15 労働者市民のつどい実行委員会
- 星野・大坂救援会全国総会
 - 8月24日（日）午後1時
ティアラこうとう中会議室 B1F
（都営地下鉄新宿線・東京メトロ半蔵門線住吉駅徒歩4分）
主催 無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会
- 狭山差別裁判徹底糾弾！ 石川一雄さんは無実だ！
東京高裁包囲糾弾デモ
 - 8月25日（月）正午 日比谷公園霞門
（東京メトロ丸ノ内線・千代田線霞ヶ関駅B2出口すぐ）
主催 部落解放東日本共闘会議／全国水平同盟杉並支部
- 大坂さん奪還 霞が関デモ&申入行動
 - 8月28日（木）正午 日比谷公園霞門
（東京メトロ丸ノ内線・千代田線霞ヶ関駅B2出口すぐ）
- ★申入行動 午後2時（予定）
 - 主催 星野・大坂全国救援会／東京労働組合交流センター
- 大坂さん奪還 霞が関デモ&街宣
 - 9月25日（木）正午 日比谷公園霞門
（東京メトロ丸ノ内線・千代田線霞ヶ関駅B2出口すぐ）
- 広島暴処法裁判第8回公判（論告求刑・最終弁論）
 - 10月3日（金）午後2時
広島地方裁判所第304号法廷
- 星野国賠控訴審第1回裁判
 - 10月22日（水）午後2時 東京高裁712号法廷
正午 日比谷公園霞門集合～霞が関デモ
午後1時 東京高裁前街宣

会員になってください

星野・大坂救援運動は全国の会員によって支えられています。あなたも会員になってください。

- 会費 年間3,000円
- 会員には星野・大坂ニュースをお届けします。
- 入会申込 東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル4階
星野・大坂全国救援会



絵・星野文昭 「ひまわりの咲く夏」 2003年制作
ひまわりの咲く作品は、3点ある。「生きている喜び」を感じさせる絵だ
星野暁子

今秋控訴審勝利へ、裁判費用 300万円のカンパを訴えます

今秋、大坂控訴審と星野国賠控訴審が始まります。両控訴審闘争の勝利へ、皆様からの絶大なカンパをお願いいたします。

大坂正明さんは一昨年の東京地裁で、密室での取り調べでねつ造された少年らの検察官調書を唯一の「証拠」に、懲役20年のでっち上げ判決を受けました。これは戦争反対の実力闘争を二度と起こさせてはならないという国家の意志をむき出しにした判決です。

大坂控訴審では詳細な供述分析や目撃実験(10メートル先の後姿の人物に対する識別実験)を通し、改めて供述調書がねつ造されたものであることを明らかにし、東京高裁に事実調べを行わせることで大坂さんの無罪＝解放を勝ち取ります。

東京地裁で東日本成人矯正医療センターの責任を明確にした星野国賠訴訟は、控訴審で徳島刑務所での星野文昭さんに対する医療放置の問題を徹底的に追及していきます。

大坂控訴審では目撃実験や鑑定意見書、星野国賠では医師の更なる意見書などを準備しています。これにかかる多額の費用をまかなう300万円カンパを、両控訴審勝利のため、皆様をお願いいたします。

振替口座：00110-5-155521

口座名：星野さんを取り戻そう！全国再審連絡会議
〒105-0004 東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル4階
TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226
Email: hoshinoosaka@ymail.ne.jp